

水高図書館だより



令和4年5月10日（火）5月号【No.2】

山形県立加茂水産高等学校 図書館

※紹介文はインターネット等を一部引用しています



2022年本屋大賞の受賞作決定！

大賞 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬 早川書房

1942年、独ソ戦のさなか、モスクワ近郊の村に住む狩りの名手セラフィマの暮らしは、ドイツ軍の襲撃により突如奪われる。母を殺され、復讐を誓った彼女は、女性狙撃小隊の一員となりスターリングラードの前線へ——。第11回アガサ・クリステイー賞大賞受賞作。

2位 『赤と青のエスキース』 青山美智子 PHP 研究所
1枚の「絵画（エスキース）」をめぐる、5つの「愛」の物語。彼らの想いが繋がる時、奇跡のような真実が現れる——。

3位 『スモールワールズ』 一穂ミチ 講談社
誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。最終話に仕掛けられた一話目への伏線。気付いた瞬間、心を揺さぶる、鳥肌モノの衝撃が襲う!!

4位 『正欲』 朝井リョウ 新潮社

5位 『六人の嘘つきな大学生』 朝倉秋成 KADOKAWA

6位 『夜が明ける』 西加奈子 新潮社

7位 『残月記』 小田雅久仁 双葉社

8位 『硝子の塔の殺人』 知念実希人 実業之日本社

9位 『黒牢城』 米澤穂信 KADOKAWA

10位 『星を掬う』 町田そのこ 中央公論新社

大賞を受賞した逢坂氏はスピーチで、喜びと感謝と共に無意味な紛争で命を落とした人を思い「主人公・セラフィマがこの光景をみたならば、どういう風に思うのだろうと考え、悲嘆に暮れました」と複雑な胸の内を語っています。

皐月 図書館開館予定表

〈開館時間は急遽変更あり〉

日	月	火	水	木	金	土
5/8 閉館	9 9:45~16:50	10 9:45~16:00	11 9:45~16:50	12 10:30~16:50	13 閉館	14 閉館
15 閉館	16 9:45~16:50	17 9:45~16:50	18 9:45~13:00	19 10:30~15:30	20 9:45~16:50	21 閉館
22 閉館	23 9:45~16:50	24 9:45~16:50	25 9:45~16:50	26 10:30~16:50	27 9:45~16:50	28 閉館
29 閉館	30 9:45~16:50	31 9:45~16:50	6/1 9:45~16:50	2 10:30~16:50	3 9:45~16:50	4 閉館



どくしょノート

学校司書のおすすめの本を紹介します。



『さばの缶づめ、宇宙へいく 鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』

小坂康之 林公代 イースト・プレス

「宇宙食、作れるんちゃう？」はじまりは生徒の一言だった。

地域の名産「よっぱらいサバ」の缶づめが、宇宙へ旅立った！そこには12年にわたる物語があった。一筋縄ではいかない開発、学校統廃合の危機。葛藤の中で一人一人が力を合わせたとき、宇宙への扉が開いた——。数々の困難をのりこえる

大気圏突破ノンフィクション！

若狭高校の前身、小浜水産高校時代。2006年に全国の水産高校の中で2校目に衛生管理の世界基準HACCP（ハサップ）を取得。2013年に「スーパーサイエンスハイスクール支援事業」指定校であった若狭高校との統合。ここからサバ缶を宇宙食にするプロジェクトがスタートしました。

何か気づきませんか？ほんのちょっとしたアイデアの違いで若狭高校のサバ缶が宇宙食に選ばれましたが、もしかしたら本校のサバ缶が宇宙で食べられていたかもしれません。どうせ無理とすぐに諦めず、チャレンジしたいことがあれば声に出してみる。その一言が実現につながる一歩に繋がるはずです。

「大きすぎる夢は、一人で実現するのは難しい。

でも長い年月をかけて、一人一人が力を合わせた時、信じられないことが現実になることがある」

新刊案内



- 『15歳からの地球温暖化 学校では教えてくれないファクトフルネス』杉山大志 育鵬社
- 『私たちのサステナビリティ』工藤尚悟 岩波ジュニア新書 SDGsに取り組む前に読んで欲しい！冊
- 『渚のリーチ！』黒沢咲 河出書房新社 現役麻雀プロの書下ろし麻雀青春小説
- 『最後の晩ごはん 後悔とマカロニグラタン』榎野道流 KADOKAWA
- 『はじめての』島本理生他 水鈴社 4人の直木賞作家が、YOASOBIとコラボレーション
- 『レジェンドアニメ！』辻村深月 マガジンハウス 映画化『ハケンアニメ！』スピンオフ小説
- 『包帯クラブ ルック・アット・ミー！』天童荒太 『包帯クラブ』の6人が再び動き出した
- 『余命10年』小坂琉加 文芸社 切ないラブストーリー 映画化原作本
- 『ヒトの壁』養老孟子 新潮社 たかがネコ、されどネコ。たかが人間、されど人間。究極の人間論。
- 『△が降る街』村崎羯諦 小学館 5分で読めて あっと驚き わっと泣ける
- 『剣持麗子のワンナイト推理』新川帆立 宝島社 弁護士・剣持麗子は今夜も徹夜で謎解き
- 『チョウセンアサガオの咲く夏』柚月裕子 KADOKAWA きれいな花には毒がある オムニバス短編集
- 『夏の体温』瀬尾まいこ 双葉社 きみと過ごした夏。僕の退屈な日々は、いっぺんに変わったー。
- 『13歳からの「手帳活用術」新装版 学力向上習慣が身につく本』小澤淳監修 メイツ出版

寄贈本紹介 毎年、船舶・海洋関係の本を中心に各団体より寄贈してもらっています

- 『人と海洋の共生をめざして150人のオピニオン10』海洋政策研究所
- 『海と人との関係学5 コモンズとしての海』秋道智彌 角南篤 西日本出版
- 『人々は疫病をどう乗り越えてきたか』山形県生涯学習文化財団
- 『海洋へのいざない 第2版』日本船舶海洋工学会